

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	自己紹介文		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()		
実施日時	令和 5年 4月 12日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	136人		
実施場所	各HR教室	使用備品	
謝礼	あり(なし)		
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	フィールドワークを通じて京都を探究し、世界に発信するための教養を身に付ける。		
講演・講義の概要	研修旅行において京都の魅力を海外へ発信することを伝え、ホームステイファミリーに向けた自己紹介文作成を通して、地元京都についての下調べを行う。		
備考・その他			
実施報告			
内容	研修旅行のホームステイファミリーへの自己紹介文を作成する中で、自分たちの住んでいる町や家族、趣味などの自分自身のバックグラウンドをよりよく伝える工夫をすることで、情報発信力を身に付ける。		
受講者の反応	自分自身をよりよく伝えるための英語や内容の工夫が見られた。		
事後指導	実際の研修旅行のホームステイファミリーとの交流で、さらに発展的に自己紹介ができたか事後にフィードバックしてみたい。		
反省・課題	研修旅行をきっかけに自分自身の情報をまとめて発信する力を身に付けさせることができた。		
記録欄	13:35~13:40 説明 13:40~14:25 自己紹介文を作成した。		
報告者	服部拳也、武居春江		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年4月19日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	校外学習グループ作り			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()			
実施日時	令和 5年 4月 19日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 136人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	フィールドワークを通じて京都を探究し、世界に発信するための教養を身に付ける。			
講演・講義の概要	5月に校外学習で京都市内のフィールドワークを実施する。グループで行動するため、本時限ではグループの作成を行い、フィールドワークに向けて交流を深める。			
備考・その他				
実施報告				
内容	グループを作るために必要な主体的行動、コミュニケーションを教員側で促しつつ、生徒自身が相談しながらグループを作成した。			
受講者の反応				
事後指導	規定の人数に収まるように、うまくグループを作っていた。			
反省・課題	教員側としては、今までに接したことがない新しい仲間がグループが作れたら、新しい人間関係作りができたかも知れないが、全体的に仲良しグループになってしまった。			
記録欄	13:35~13:40 説明 13:40~14:25 グループ作りをした。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年4月26日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容	校外学習行程づくり				
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()				
実施日時	令和 5年 4月 26日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数	136人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼	あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団		
役割分担					
目的	フィールドワークを通じて京都を探究し、世界に発信するための教養を身に付ける。				
講演・講義の概要	5月に校外学習で京都市内のフィールドワークを実施する。その準備として京都の史跡名勝についてリサーチし、京都の魅力等について探究する。				
備考・その他					
実施報告					
内容	京都市内の魅力あるスポットを3つ選び、それを映像作品にする。その作品は成果物として、文化祭や研修旅行の自己紹介に活用する。スポット選びをグループで相談する前に、去年の優秀作品を参照して自分自身の作る作品をイメージさせた。京都駅を出発点として、学校帰着までの行程、予算をとりまとめた。				
受講者の反応	皆、積極的に意見を出し合い、手際よくかつ意欲的に3か所を選んだ。				
事後指導	各担任で無理のない予算か、行程かどうかをチェックした。				
反省・課題	3か所のスポットに共通するテーマや観点をもっと意識させられたらよかった。				
記録欄	13:35~13:40 説明 13:40~14:25 グループで郊外学習の行程づくりをした。				
				報告者	服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年5月10日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	学校長の研修旅行にむけての講話		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()		
実施日時	令和 5年 5月 10日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分 来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年 受講人数 136 人
実施場所	ホール、各HR教室	使用備品	謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	学校長のアメリカ研修旅行の講話を踏まえて、探究テーマの意識付けを行う。		
講演・講義の概要	学校長の講話を元に、アメリカ研修旅行での探究テーマ探しを行う。		
備考・その他			
実施報告			
内容	学校長の講話を聴いた上で、アメリカ研修旅行での探究学習のテーマ探しを行う。		
受講者の反応	生徒は各自、学校長の講話で印象に残った点を紙にまとめた。		
事後指導	学校長の講話を生徒がまとめたものの中に、探究のテーマにつながるものがあるか、HR担任で確認した。		
反省・課題	探究のテーマを絞り切れていない生徒が多くいた。		
記録欄	13:40~14:25 学校長の講話を聴いた。 14:35~15:25 学校長の講話をもとに探究のテーマにつながりそうなものを紙にまとめた。		
			報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年5月17日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	AIGROW		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団、雑賀巖 ()		
実施日時	令和 5年 5月 17日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	136 人		
実施場所	各HR教室	使用備品	謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	AIGROW実施		
講演・講義の概要	AIGROWで自己、気質、相互評価を行う。		
備考・その他			
実施報告			
内容	自分自身について、他者について多面的に評価する。		
受講者の反応	一切の私語なく、集中して行った。		
事後指導	今後の探究学習のグループ作成に活用する。		
反省・課題	特になし。		
記録欄	13:40~14:25 AIGROWを実施した。		
報告者	服部拳也、武居春江		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年5月31日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	京都市内観光動画鑑賞(1)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()			
実施日時	令和 5年 5月 31日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 136 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	京都市内観光動画鑑賞して互いにフィードバックすることで、コミュニケーション能力を養う			
講演・講義の概要	動画鑑賞の後、意見交換			
備考・その他				
実施報告				
内容	動画のテーマ、観点、工夫した点などを話し合った。			
受講者の反応	楽しく動画を鑑賞しつつも、真剣に取り組んでいた。			
事後指導	今後も継続的に探究学習のアウトプットの力を伸ばしていく。			
反省・課題	特になし。			
記録欄	13:40~14:25 各動画の視聴後、自由に感想を述べあった。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年6月7日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容	京都市内観光動画鑑賞(2)				
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()				
実施日時	令和 5年6月 7日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数	177 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼	あり(な)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団		
役割分担					
目的	京都市内観光動画鑑賞して互いにフィードバックすることで、コミュニケーション能力を養う				
講演・講義の概要	動画鑑賞の後、意見交換				
備考・その他					
実施報告					
内容	動画のテーマ、観点、工夫した点などを話し合った。				
受講者の反応	楽しく動画を鑑賞しつつも、真剣に取り組んでいた。				
事後指導	今後も継続的に探究学習のアウトプットの力を伸ばしていく。				
反省・課題	特になし。				
記録欄	13:40~14:25 各動画の視聴後、自由に感想を述べあった。				
	報告者 服部拳也、武居春江				

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年6月21日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	京都市内観光動画鑑賞			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()			
実施日時	令和 5年 6月 21日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 136 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	観光甲子園関連のビデオ視聴とグループの顔合わせ、役割分担決め			
講演・講義の概要	動画鑑賞の後、意見交換			
備考・その他				
実施報告				
内容	観光甲子園では、3日間の修学旅行プランを立て、その企画書を完成させ、提出する。その旅行プランには、SDGsのどの目標を達成するかを盛り込む必要がある。			
受講者の反応	オーバーツーリズムによる弊害は日常的に体験しているようであった。			
事後指導	日常的に体験していることを、SDGsに関連させて課題解決する力を継続的につけていく。			
反省・課題	特になし。			
記録欄	13:35~14:00 観光甲子園についての動画を視聴した。 14:00~14:25 各グループの顔合わせ、役割分担決めをした。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年6月28日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容	京都市内観光企画書作成(1)				
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()				
実施日時	令和 5年6月 28日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数	136人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼	あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団		
役割分担					
目的	観光甲子園:京都3日間修学旅行企画案作成(1)				
講演・講義の概要	SDGsのゴール、ターゲットから、京都3日間修学旅行で達成したいものを選ぶ				
備考・その他					
実施報告					
内容	京都3日間の修学旅行企画案を作成し始める。具体的プランを立てる前に、自分たちが達成したいと考える、SDGsのゴール、ターゲットを、環境面、社会面、経済面からそれぞれ選ぶところから始める。				
受講者の反応	SDGsのゴール、ターゲットを意識させることができた。				
事後指導	各グループで選んだSDGsのゴール、ターゲットを具体的に自分の観光プランに当てめる。				
反省・課題	特になし。				
記録欄	13:35~13:45 過去の入賞作品を見せる。 13:45~14:25 各グループでSDGsのゴール、ターゲットを選び、プランを立てた。				
	報告者 服部拳也、武居春江				

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年7月12日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容	京都市内観光企画書作成(2)				
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()				
実施日時	令和 5年7月 12日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数	136人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼	あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団		
役割分担					
目的	観光甲子園:京都3日間修学旅行企画案作成(2)				
講演・講義の概要	SDGsのゴール、ターゲットから、京都3日間修学旅行プランを立てる				
備考・その他					
実施報告					
内容	環境面、社会面、経済面のSDGsのゴール、ターゲットを念頭に置き、過去の優秀作品を参考にしながら、京都観光の具体的な行程を考える。				
受講者の反応	具体的な観光プランとSDGsのゴール、ターゲットを密接に結びつけて、企画書を書くことに苦戦し				
事後指導	生徒自身に、不足している知識を意識的に調べて補っていく作業に慣れさせる必要がある。				
反省・課題	特になし。				
記録欄	13:35~14:25 各グループでSDGsのゴール、ターゲットを選び、プランを立てた。				
				報告者	服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	京都市内観光企画書作成(3)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()			
実施日時	令和 5年7月 19日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 136人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	観光甲子園:京都3日間修学旅行企画案作成(3)			
講演・講義の概要	SDGsのゴール、ターゲットから、京都3日間修学旅行プランを仕上げる。			
備考・その他				
実施報告				
内容	環境面、社会面、経済面のSGDsのゴール、ターゲット達成を目的にして、出典、添付資料を明記しつつ、京都観光の企画書を仕上げる。			
受講者の反応	仕上げに近づくほどに、よりよい企画書にしようとする意欲が高まってきた。			
事後指導	仕上がった企画書を提出する。また予選を通過如何にかかわらず、観光の企画書をスライド、もしくはポスターにして、英語か日本語によるプレゼンテーションの準備をさせる。			
反省・課題	特になし。			
記録欄	13:35~14:25 各グループでSDGsのゴール、ターゲットを選び、プランを立てた。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年8月30日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容	Weblio英会話(1)				
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()				
実施日時	令和 5年8月 30日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数	136 人
実施場所	パソコン教室	使用備品	パソコン	謝礼	あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団		
役割分担					
目的	研修旅行に向けての基本的な英会話スキルの醸成				
講演・講義の概要	オンライン英会話でフィリピンの英会話講師とレベル別教材をもとに英会話練習をする				
備考・その他					
実施報告					
内容	パソコン教室にて、30分間、各教材の音読、その内容に関するインタラクション、それが終わったらフリートークを楽しむ。				
受講者の反応	ほぼ全員の生徒が教員の補助なしにスムーズに英会話のやり取りをすることができた。				
事後指導	引き続き、研修旅行に向けて、残り2回、年間5回の実施で、コミュニケーションの楽しさを生徒が実感できるよう、サポートしたい。				
反省・課題	WWLで身に付けるべきスキルの中ではコミュニケーションスキルのみには当てはまるが、もう少し探究と結びつけることができるよう、メニューを検討する必要がある				
記録欄	13:35~14:25 パソコン教室にてオンライン英会話を実施した。				
				報告者	服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容	アメリカの農業から日本の農業を考える				
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()				
実施日時	令和 5年9月 6日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数	136人
実施場所	ホール	使用備品		謝礼	あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団		
役割分担					
目的	研修旅行に向けての事前指導(アメリカの農業について学ぶ)				
講演・講義の概要	アメリカの灌漑農業から、水を無駄にしない農業の在り方、水を大切に使うSDGsの目標に結びつける。				
備考・その他					
実施報告					
内容	ホールにて、社会科教員が動画を見せつつ、普段の地理の授業から学んでいる知識を研修旅行に結び付け、発展的にSDGsに関連する水の大切さを学ぶ。				
受講者の反応	真剣に考え、社会科教員の発問に対する応答が活発であった。				
事後指導	研修旅行中に身をもって農業、水に関して活きた学びを経て、今後の探究のテーマとして研究を継続することができるように指導する必要がある。				
反省・課題	事前指導として、あまり時間がとれなかった。4月からもっと農業、水に関するテーマを意識して、一貫したテーマで通年で探究学習ができるように計画をしっかりと立てる必要がある。				
記録欄	13:35~14:25 ホールにて全員がアメリカの農業、水について事前指導を受けた。				
				報告者	服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年9月13日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	Weblio英会話(2)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()			
実施日時	令和 5年9月 13日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 136人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	研修旅行に向けての基本的な英会話スキルの醸成			
講演・講義の概要	オンライン英会話でフィリピンの英会話講師とレベル別教材をもとに英会話練習をする			
備考・その他				
実施報告				
内容	パソコン教室にて、30分間、各教材の音読、その内容に関するインタラクション、それが終わったらフリートークを楽しむ。			
受講者の反応	ほぼ全員の生徒が教員の補助なしにスムーズに英会話のやり取りをすることができた。			
事後指導	引き続き、研修旅行に向けて、残り2回、年間5回の実施で、コミュニケーションの楽しさを生徒が実感できるよう、サポートしたい。			
反省・課題	WWLで身に付けるべきスキルの中ではコミュニケーションスキルのみには当てはまるが、もう少し探究と結びつけることができるよう、メニューを検討する必要がある			
記録欄	13:35~14:25 パソコン教室にてオンライン英会話を実施した。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年9月20日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	Weblio英会話(3)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()			
実施日時	令和 5年9月 20日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 136 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員		担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	研修旅行に向けての基本的な英会話スキルの醸成			
講演・講義の概要	オンライン英会話でフィリピンの英会話講師とレベル別教材をもとに英会話練習をする			
備考・その他				
実施報告				
内容	パソコン教室にて、30分間、各教材の音読、その内容に関するインタラクション、それが終わったらフリートークを楽しむ。			
受講者の反応	ほぼ全員の生徒が教員の補助なしにスムーズに英会話のやり取りをすることができた。			
事後指導	引き続き、研修旅行に向けて、残り2回、年間5回の実施で、コミュニケーションの楽しさを生徒が実感できるよう、サポートしたい。			
反省・課題	WWLで身に付けるべきスキルの中ではコミュニケーションスキルのみには当てはまるが、もう少し探究と結びつけることができるよう、メニューを検討する必要がある			
記録欄	13:35~14:25 パソコン教室にてオンライン英会話を実施した。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年9月27日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容	研修旅行に向けての事前準備				
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()				
実施日時	令和 5年9月 27日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数	136人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼	あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団		
役割分担					
目的	アメリカ研修旅行の事前学習(本学の研修旅行の歴史について)				
講演・講義の概要	本校の研修旅行の始まり、コロナ禍による中断を経て、再開する意義について				
備考・その他					
実施報告					
内容	本校の先輩たちの研修旅行の歴史、その教訓を踏まえて今回の研修旅行をどのように意義深いものにするかについて、生徒一人ひとりに考えさせた。				
受講者の反応	生徒たちは学校長の話に聞き入っていた。				
事後指導	緊張感をもって研修旅行の心の準備をさせたい。				
反省・課題	特になし。				
記録欄	13:35~14:25 学校長による研修旅行の話聴いた。				
				報告者	服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年10月25日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	観光甲子園の観光プランを深める(1)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()			
実施日時	令和 5年10月 25日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 177 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	アメリカ研修旅行を踏まえて、京都観光プランを深める(1)			
講演・講義の概要	アメリカ研修旅行後、外から客観的に京都観光を見つめて、京都観光プランを深化させる。			
備考・その他				
実施報告				
内容	観光甲子園のスライド化に向けて、プラン自体をもう一度見直す。			
受講者の反応	各個人での作業であったが、ほぼ全員集中して取り組むことができた。			
事後指導	アメリカ研修旅行で学んだ内容を紙面上でまとめたが、あと2回でスライドにまとめ、プレゼンの準備をする			
反省・課題	特になし			
記録欄	13:35~14:25 アメリカ研修旅行を踏まえて観光プランを再考した。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年11月8日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	観光甲子園の観光プランを深める(2)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()			
実施日時	令和 5年11月8日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 136人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	アメリカ研修旅行を踏まえて、京都観光プランを深める(2)			
講演・講義の概要	アメリカに行くことで、外から客観的に京都観光を見つめて、京都観光プランを深化させる。			
備考・その他				
実施報告				
内容	観光甲子園のスライド化に向けて、プラン自体をもう一度見直す。			
受講者の反応	各個人での作業であったが、ほぼ全員集中して取り組むことができた。			
事後指導	アメリカ研修旅行で学んだ内容を紙面上でまとめたが、あと2回でスライドにまとめ、プレゼンの準備をする			
反省・課題	特になし			
記録欄	13:35~14:25 アメリカ研修旅行を踏まえて観光プランを再考した。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年11月15日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容	観光甲子園のプランをスライドに(プレゼンを意識して)(1)				
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()				
実施日時	令和 5年11月15日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数	136 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼	あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団		
役割分担					
目的	最終的に京都の研修旅行のプランについてのプレゼン準備(1)				
講演・講義の概要	観光甲子園の準決勝進出したチームのスライドを参考にして他チームもスライドを作成する				
備考・その他					
実施報告					
内容	京都の研修旅行のプランについてプレゼンするためにスライドに内容を反映させる				
受講者の反応	最終目標がプレゼン発表である点を意識して積極的に取り組んだ				
事後指導	しばらく内容を充実させていく				
反省・課題	特になし				
記録欄	13:35~14:25 アメリカ研修旅行を踏まえたプレゼンのスライドを作成した。				
				報告者	服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年11月22日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	観光甲子園のプランをスライドに(プレゼンを意識して)(2)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()			
実施日時	令和 5年11月 22日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 136 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	最終的に京都の研修旅行のプランについてのプレゼン準備(2回目)			
講演・講義の概要	観光甲子園の準決勝進出したチームのスライドを参考にして他チームもスライドを作成する(2回目)			
備考・その他				
実施報告				
内容	京都の研修旅行のプランについてプレゼンするためにスライドに内容を反映させる(2回目)			
受講者の反応	最終目標がプレゼン発表である点を意識して積極的に取り組んだ			
事後指導	しばらく内容を充実させていく			
反省・課題	特になし			
記録欄	13:35~14:25 アメリカ研修旅行を踏まえたプレゼンのスライドを作成した。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年12月6日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	観光甲子園のプランについてのプレゼンのリハーサル(1)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()			
実施日時	令和 5年12月 6日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 136 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	観光甲子園のプランについてのプレゼンの準備(1)			
講演・講義の概要	グループ単位で、プレゼンの台詞を暗記をさせる。			
備考・その他				
実施報告				
内容	スライドの内容をそのまま読み上げるのではなく、スライドの内容を補うような台詞を暗記させた。			
受講者の反応	台詞が仕上がり切れてないグループも存在した。			
事後指導	しばらく内容を充実させていく			
反省・課題	特になし			
記録欄	13:35~14:25 各グループで台詞を完成させ、それを暗記した。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和5年12月13日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	観光甲子園のプランについてのプレゼンのリハーサル(2)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()			
実施日時	令和 5年12月 13日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 136 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	観光甲子園のプランについてのプレゼンの準備(2)			
講演・講義の概要	グループ単位でプレゼンのリハーサルを行う。			
備考・その他				
実施報告				
内容	実際のプレゼンの姿勢、音量、段取りにしてグループ内で指摘しあう。			
受講者の反応	生徒たちは熱心にリハーサルを行っていた。			
事後指導	実際にしゃべってみると、内容だけではなく、発声など、伝わりにくい要素も多く見つかかり、リハーサルの大切さが理解できた。			
反省・課題	特になし			
記録欄	13:35~14:25 各グループでプレゼンのリハーサルを行った。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和6年1月10日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	観光甲子園のプランについてのプレゼン発表			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()			
実施日時	令和 6年1月 10日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 136 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	観光甲子園のプランについてのプレゼンテーション			
講演・講義の概要	アメリカ研修旅行を経て、外から見た京都について、観光プランを充実させて発表した。			
備考・その他				
実施報告				
内容	日本語で観光甲子園のプランについてプレゼンテーションを行った。			
受講者の反応	生徒たちは熱心に聞き入っていた。			
事後指導	リハーサルの甲斐もあり、おおむねスムーズに発表できていた。			
反省・課題	特になし			
記録欄	13:35~14:25 各クラス、各グループに分かれてプレゼンを行った。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和6年1月24日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	WWL研究成果発表会			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()			
実施日時	令和 6年1月24日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 136人
実施場所	各HR教室、中教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	WWL研究成果発表会で、3人の生徒は代表として、英語で発表し、他の生徒は自教室して各発表、作品を視聴し、気づきがあればメモをとった。			
講演・講義の概要	WWL研究成果発表会			
備考・その他				
実施報告				
内容	英語で発表が行われるため、難しいところは理解が難しいようであった。内容以外での学びについてメモするように指導した。			
受講者の反応	多くの生徒にとって、英語を聞くだけで完全に理解するのは難しいが、スライドで理解しようと努めた。			
事後指導	特になし			
反省・課題	特になし			
記録欄	9:00~12:00 中教室にてコース別発表、発表者以外は教室にて視聴した。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和6年1月31日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	WWL研究成果発表大会の振り返り			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()			
実施日時	令和 6年1月31日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 136 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	WWL研究成果発表大会から学んだ点を振り返って今後の探究活動に活かす			
講演・講義の概要	アンケートを実施し、その主だった意見について話し合う。			
備考・その他				
実施報告				
内容	英語での発表であったので、内容的を完全に理解できた生徒がほとんどいなかったが、スライドなどビジュアル的な工夫や、声量、抑揚の工夫など、発表の姿勢、段取りについて学ぶべきことがあったようである。			
受講者の反応	発表の基本について、活発に議論がされた。			
事後指導	最終の全グループによる観光甲子園の観光プランの英語版プレゼンに向けて、今回学んだことを活かすように指導した。			
反省・課題	特になし			
記録欄	13:35~14:25 各教室にて意見交換をした。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和6年2月7日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	Weblio英会話(4)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()			
実施日時	令和 6年2月 7日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 136人
実施場所	パソコン教室	使用備品	パソコン	謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	研修旅行で培った英語のコミュニケーションスキルをさらに伸ばす			
講演・講義の概要	オンライン英会話でフィリピンの英会話講師とレベル別教材をもとに英会話練習をする			
備考・その他				
実施報告				
内容	パソコン教室にて、30分間、各教材の音読、その内容に関するインタラクション、それが終わったらフリートークを楽しむ。			
受講者の反応	ほぼ全員の生徒が教員の補助なしにスムーズに英会話のやり取りをすることができた。			
事後指導	研修旅行、そのプレゼン、WWL研究成果発表会を経て、将来にかけてさらに英会話スキルを伸ばすよう促したい。			
反省・課題	WWLで身に付けるべきスキルの中ではコミュニケーションスキルのみには当てはまるが、もう少し探究と結びつけることができるよう、メニューを検討する必要がある			
記録欄	13:35~14:25 パソコン教室にてオンライン英会話を実施した。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和6年2月14日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容	Weblio英会話(5)				
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()				
実施日時	令和 6年2月 7日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数	136人
実施場所	パソコン教室	使用備品	パソコン	謝礼	あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団		
役割分担					
目的	研修旅行で培った英語のコミュニケーションスキルをさらに伸ばす				
講演・講義の概要	オンライン英会話でフィリピンの英会話講師とレベル別教材をもとに英会話練習をする				
備考・その他					
実施報告					
内容	パソコン教室にて、30分間、各教材の音読、その内容に関するインタラクション、それが終わったらフリートークを楽しむ。				
受講者の反応	ほぼ全員の生徒が教員の補助なしにスムーズに英会話のやり取りをすることができた。				
事後指導	研修旅行、そのプレゼン、WWL研究成果発表会を経て、将来にかけてさらに英会話スキルを伸ばすよう促したい。				
反省・課題	WWLで身に付けるべきスキルの中ではコミュニケーションスキルのみには当てはまるが、もう少し探究と結びつけることができるよう、メニューを検討する必要がある				
記録欄	13:35~14:25 パソコン教室にてオンライン英会話を実施した。				
				報告者	服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和6年2月21日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	観光甲子園プレゼンの英語バージョンの作成			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()			
実施日時	令和 6年2月 21日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 136人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	観光甲子園プレゼンテーションを英語版にする			
講演・講義の概要	観光甲子園の発表スライドの日本語部分を英語に、日本語の台詞を英語に直す。			
備考・その他				
実施報告				
内容	英語プレゼンをする場合の適切な英語の選択、できるだけシンプルな英語でわかりやすく伝える工夫をさせた。			
受講者の反応	グループのそれぞれの役割の仕事を責任をもって果たしていた。			
事後指導	高校2年生レベルの英語に翻訳するというよりも、中学で習ったようなシンプルな英語から考え始めた方が、より明快に伝わると指導した。			
反省・課題	翻訳アプリに頼ろうとする生徒が多かった。そうすると本来伝えたい内容とは別の内容になる可能性もあり、翻訳された英語、日本語を再度照らし合わせて、確認することが重要だと思った。			
記録欄	13:35~14:25 パソコンを使用しながら、プレゼンの英語バージョンを作成した。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和6年3月6日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容	観光甲子園の英語バージョンプレゼンテーション				
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ()				
実施日時	令和 6年3月6日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数	136 人
実施場所	ホール	使用備品		謝礼	あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団		
役割分担					
目的	観光甲子園プレゼンテーションの英語版を実施し、質疑応答も英語で行った。				
講演・講義の概要	ホールに集合し、各グループ8分以内で発表、観衆を変えて数回発表した。				
備考・その他					
実施報告					
内容	探究の英語プレゼンテーションを聞き、英語を理解した上で、英語で質疑応答に務めた。				
受講者の反応	積極的に質問、英語でがんばって応答していた。				
事後指導	それぞれのグループに対しての振り返りを書かせた。				
反省・課題	多少の失敗も大いなる収穫であった。				
記録欄	13:35~13:40 諸注意 13:40~14:25 各グループにて発表した。				
				報告者	服部拳也、武居春江

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を